

長崎県本土で確認されたバライロムクドリ (スズメ目ムクドリ科) について

宮崎 八州雄¹⁾

Record of Rosy Starling in Nagasaki City in mainland Kyusyu

Yasuo MIYAZAKI¹⁾

バライロムクドリ *Pastor roseus* は、ヨーロッパ中南部や中国西部等で繁殖し、アラビア半島東部からインド・スリランカで越冬する(五百沢ら 2014)。

日本では南西諸島を除き、主に迷鳥(AV)として記録されている(日本鳥学会 2012)。

筆者らは2019年に長崎市で確認し、同一個体について吉谷(2021)の簡単な報告があるが、行動等の知見を加え、改めて報告する。

真木広造・大西敏一・五百澤日丸 2014. 日本の野鳥 650. 788pp. 平凡社.

日本鳥学会 2012. 日本鳥類目録改訂第7版. 438pp 日本鳥学会, 三田.

吉谷将史 2021. 令和元年度長崎市自然環境調査報告書: 鳥類. pp 5. 長崎市環境部環境政策課.

確認記録

1. 日時 2019年5月13日~14日
2. 場所 長崎県長崎市野母町出口(4829-7601)
3. 個体数 1個体

頭部から胸にかけてと翼, 下尾筒は黒く, 背と腹及び嘴は灰色味を帯びた淡いピンク色をしており, 頭部には冠羽があった(図1, 2)。

ムクドリの群れに混じって芝生などで採食し, 林縁部の樹木や建物の屋根で休息し, 時折ホシムドリ *Sturnus vulgaris* にやや似たしわがれたグゼリ声を発していた。

本種は九州では鹿児島県本土, トカラ列島, 奄美大島で記録され(日本鳥学会, 2012), その後長崎県対馬(杉原敏私信)でも記録があるが, 長崎県を含む北部九州の本土での確認例は初めてと思われる。

末筆ながら, 本種を発見された桑原宏, 高木智宏の両氏及び本種の記録をご教示頂いた杉原敏氏に感謝申し上げます。

文献

五百沢日丸・山形則男 2014. ネイチャーガイド新訂 日本の鳥550山野の鳥. 415pp. 文一総合出版.



図1. 休息するバライロムクドリ 宮崎八州雄撮影



図2. 採食中のバライロムクドリ 宮崎八州雄撮影

¹⁾ 〒849-1311 鹿児島市大字高津原1983-4